

# 日本の文化・社会・言語研修コース（函館校）

---

## [B-11]日本の文化・社会・言語研修コース（函館校）

（日本語能力検定 N2～N4 相当の者について 1 学期または 1 年間配属）

### 1.概要

留学生専用クラスで、日本文化や社会をテーマに日本語を学ぶほか、国際地域学科の講義が受講可能。また、日本人学生と一緒に地域社会の活動を体験し、日本語と日本文化、社会についてより深く理解を深めるコース

### 2.開設科目

以下の科目の中から、半期合計 7 科目以上を履修すること。

#### 1.専門科目

---

日本文化や日本社会をテーマに日本語を学ぶ。（基礎から中上級程度まで、日本語のレベルに応じて科目を選択する。）

（前期：4月～8月）

- 初中級日本語 I、Ⅲ、Ⅴ、Ⅶ
- 中級日本語 I、Ⅲ

- 中上級日本語 I、Ⅲ、Ⅴ
- 上級日本語 I、Ⅲ
- 現代日本社会・文化論 I
- 日本語コミュニケーション演習 I

**(後期：10月～2月)**

- 初中級日本語Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ、Ⅷ、Ⅹ
- 中級日本語Ⅱ、Ⅳ
- 中上級日本語Ⅱ、Ⅳ、Ⅵ
- 上級日本語Ⅱ、Ⅳ
- 現代日本社会・文化論Ⅱ
- 日本語コミュニケーション演習Ⅱ

**(前・後期開講)**

- 日本文化実習（茶道、華道）

## 2.自由選択科目

---

日本語のレベルに応じて、函館校で開講している講義を受講する。

(留学生が履修した講義例)

アジア経済論、コミュニティ形成論、市民社会論、地域政策概論Ⅱ (コミュニティと自治)、日本語教育学Ⅱ、日本の言語表象文化、現代地域教養Ⅳ (国際福祉論)

### 3. 課外活動

---

函館地域の小学校での児童との交流など函館の地域社会での活動に参加する。

### 4. 日本語能力別のおすすめ授業

---

#### (1) 初中級レベル (N4 相当レベル)

函館校では、初級レベルから中級レベルの橋渡しとなる科目がたくさんあり、初級後半レベルの内容を復習しながら、中級前半レベルの実力を着実につけていくことができます (「初中級日本語Ⅰ～Ⅹ」)。各科目は、有機的に連携しており、4技能をバランス良く学ぶことができます。

また、日本語だけでなく、茶道・華道など伝統的な日本文化を体験的に学ぶ科目 (「日本文化実習」) や、日本人学生と交流しながら函館市内のさまざまな場所に実際に出かけて、日本の文化・社会について学ぶ科目 (「日本語コミュニケーション演習Ⅰ～Ⅱ」) もあります。

## (2) 中級～中上級レベル (N3 相当～N2 相当レベル)

函館校では、「中級日本語 I～IV」「中上級日本語 I～VI」という科目があり、中級前半から中級後半までのレベルに対応しています。N2 に合格したい人には、ぴったりの内容です。総合的な日本語のクラスに加え、読解や作文、ディスカッションなど技能別のクラスもあります。

また、日本語だけでなく、茶道・華道など伝統的な日本文化を体験的に学ぶ科目（「日本文化実習」）や、日本人学生と交流しながら函館市内のさまざまな場所に実際に出かけて、日本の文化・社会について学ぶ科目（「日本語コミュニケーション演習 I～II」）も受講可能です。

中上級レベルの留学生は、学部の授業にも挑戦することができます。特に、留学生の受講を歓迎している「留学生ウェルカム授業」が函館校にはありますので、自分の興味や関心に応じて、ぜひ受講してみたいかどうか。

## (3) 上級レベル (N2 相当～N1 相当レベル)

函館校では、「上級日本語 I～IV」という科目があり、アカデミックな日本語をしっかりと学ぶことができます。N1 合格を目指す学生にはぴったりの内容です。

また、日本語だけでなく、茶道・華道など伝統的な日本文化を体験的に学ぶ科目（「日本文化実習」）や、日本人学生と交流しながら函館市内のさまざまな場所に実際に出かけて、日本の文化・社会について学ぶ科目（「日本語コミュニケーション演習Ⅰ～Ⅱ」）も受講可能です。

上級レベルの留学生には、学部の授業に積極的に参加してもらいます。各自の興味や関心に応じて、「市民社会論」「アジア経済論」「国際福祉論」「日本の言語表象文化」「日本語教育学Ⅱ」など、さまざまな科目を受講することができます。函館校国際地域学科にどんな科目があるかぜひ確認してみてください。（→シラバスにリンク）